

平成23年（1月～12月）における救助概況

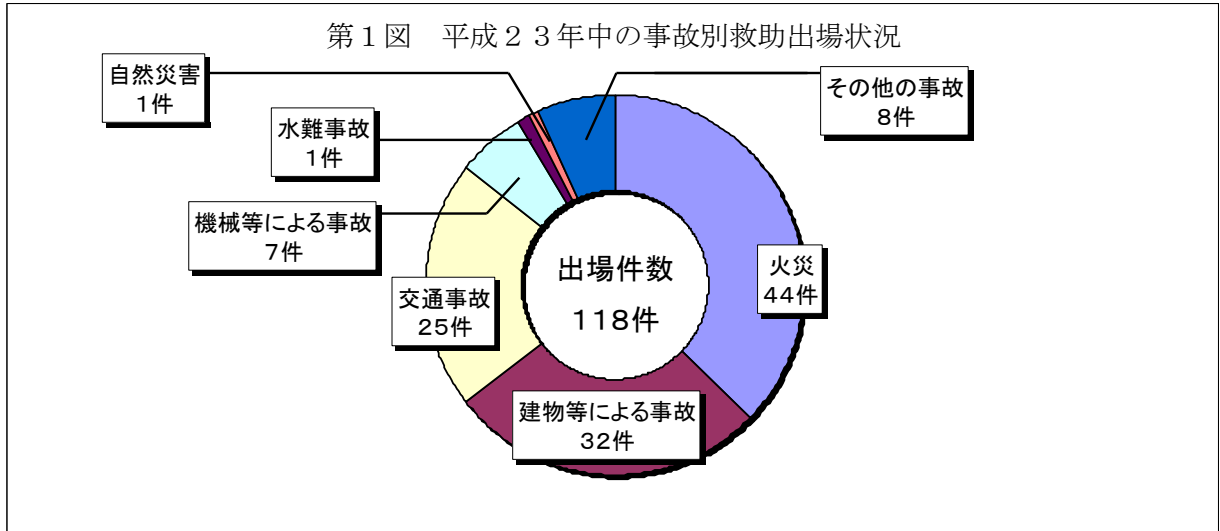
* 比較値については、前年の確定値と比較しています。端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

1 救助出場状況

平成23年中の救助出場件数（救助活動を行うために出場した件数）は118件であり、前年と比べると13件減少しており、事故種別では、火災44件（37%）、建物等による事故32件（27%）、交通事故25件（21%）、機械等による事故7件（6%）、水難事故1件（1%）、自然災害1件（1%）、その他の事故8件（7%）の順となっている。

なお、前年との比較は第1表のとおりである。

（第1図、第3図参照）



2 救助活動状況

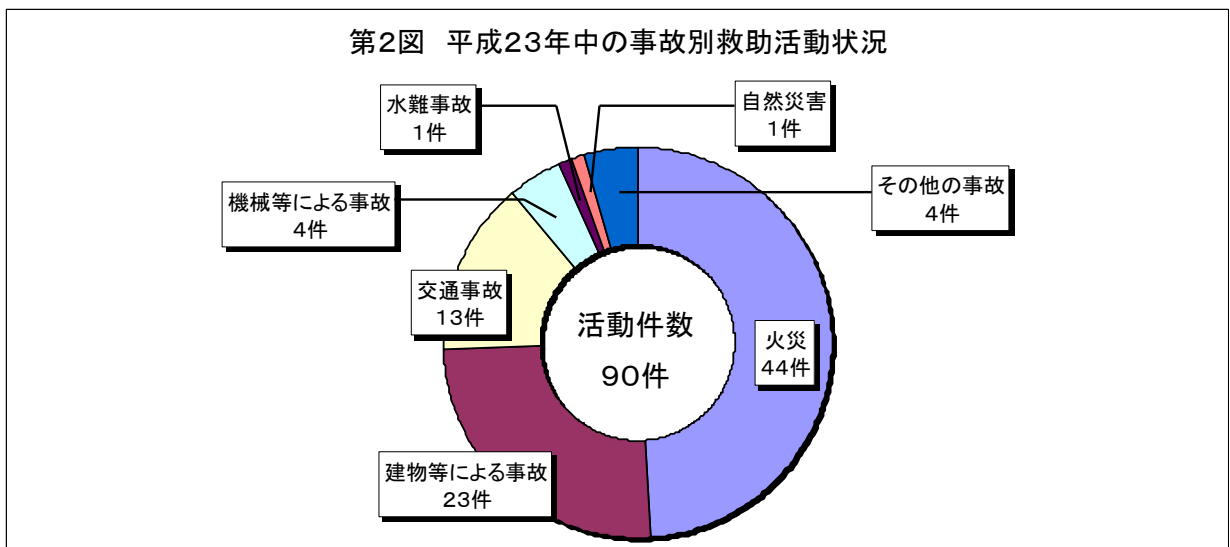
救助活動件数（救助出場件数のうち実際に救助活動を行った件数）は90件であり、前年に比較し、3件減少している。事故種別では、火災44件（49%）、建物等による事故23件（26%）、交通事故13件（14%）、機械等による事故4件（4%）、水難事故1件（1%）、自然災害1件（1%）、その他の事故4件（4%）の順となっている。

なお、前年との比較は第1表のとおりである。

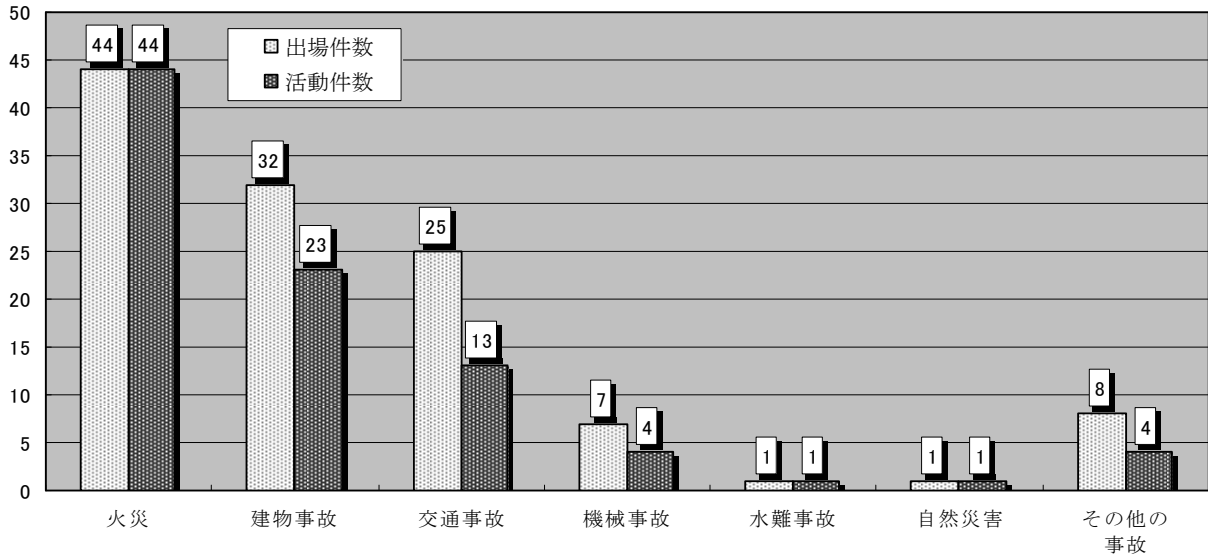
（第2図、第3図参照）

次に、救助活動人員は延べ683人で、救助活動を行った車両は延べ192台となっている。

（第2表、第3表参照）



第3図 平成23年中の事故別救助出場・活動比較



第1表 救助出場・活動状況の前年との比較 ()は救助活動件数・▲は減少

		平成23年 (A)	平成22年 (B)	増減 (A) - (B)
出 場 件 数		118 (90)	131 (93)	▲13 (▲3)
事 故 種 別	火 災	44 (44)	36 (36)	8 (8)
	交 通 事 故	25 (13)	22 (15)	3 (▲2)
	水 難 事 故	1 (1)	5 (4)	▲4 (▲3)
	自 然 災 害	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	機 械 等 に よ る 事 故	7 (4)	9 (4)	▲2 (0)
	建 物 等 に よ る 事 故	32 (23)	47 (25)	▲15 (▲2)
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	0 (0)	1 (1)	▲1 (▲1)
	破 裂 事 故	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	そ の 他 の 事 故	8 (4)	11 (8)	▲3 (▲4)
救 助 人 員		36	60	▲24
出 場 人 員		2,657	2,898	▲241
活 動 人 員		683	775	▲92
出 場 台 数		704	741	▲37
活 動 台 数		192	221	▲29

※ 出場件数とは、救助隊が出場した件数を示し、救助活動件数とは、出場件数のうち消防機関が何らかの救助活動を行った件数を示す。

第2表 救助活動人員

事故種別 隊員	火災	建物等による事故	交通事故	機械等による事故	水難事故	自然災害	酸欠事故	ガス及び	破裂事故	その他の事故	計 (人)
救助隊員	185	72	52	16	4	4	0	0	0	32	365
消防隊員	49	63	47	10	2	5	0	0	0	23	199
救急隊員	21	42	33	9	3	2	0	0	0	9	119
計	255	177	132	35	9	11	0	0	0	64	683

第3表 救助活動を行った車両

事故種別 車両	火災	建物等による事故	交通事故	機械等による事故	水難事故	自然災害	酸欠事故	ガス及び	破裂事故	その他の事故	計 (台)
救助工作車	21	8	10	0	0	0	0	0	0	4	43
ポンプ車 (タンク車含)	40	30	15	7	2	2	0	0	0	5	101
はしご車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
化学車	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
指揮車 司令車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急車	7	14	11	3	1	1	0	0	0	3	40
その他の消防車両	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4	6
その他の車両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	69	52	37	10	3	4	0	0	0	17	192

3 救助人員状況

平成23年中の救助活動における救助人員は36人で、前年と比べると24人減少しており、事故種別では、火災6人（17%）、建物等による事故16人（44%）、交通事故9人（25%）、機械による事故3人（8%）、その他の事故2人（6%）となっている。

（第4図参照）

